

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	特定非営利活動法人 WeAre 放課後等デイサービス MekiMeki			
○保護者評価実施期間	令和7年2月20日		～	令和7年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 9 名	(回答者数)	1 5 名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～	令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害特性に捉われず、卒後の自立へと向けた充実した療育プログラムのご提案	毎月イベントカレンダーを作成。日々の活動に変化を持たせ、それぞれにねらいをもった活動を積極的にご提案。個での関わりはもちろんのこと、小集団の中での学びについても特化し、他児との横の繋がり・関わりに重点を置いている。毎月外部講師を招くプログラム(アート活動・音楽療法・マッサージ)や、季節行事・食育・防災・健康・SDGs・社会参加(金種の理解・外出・外食)など多岐にわたる。こども会議を設け、こどもたちが主体になって話し合ったり物事を決めたりする機会を大切にしている。保護者様参加型として、法人全体として夏祭りを開催。	全員のお子様方が体験・経験ができるよう、プログラムの提案日の設定を考慮していく。感染症の兼ね合いや職員配置等の事由により、外出の機会がまだ少ない傾向にある為、より社会参加の機会を設けていきたい。また、活動に保護者様も参加して頂けるような仕組みを強化したい。
2	地域の中で初の医療的ケア児対応の放課後等デイサービス	常時看護師の配置。峡北地域(荏崎市・北杜市)の中で医療的ケア児の受け入れ箇所がゼロであった中、設立。計画相談員・教育機関・医療機関・行政に情報提供しながら、各ご家庭のニーズをキャッチし、医療的ケア児他、発達・知的のお子様方も含め積極的な受け入れを行っている。	・事業所のPRの強化(SNS等の活用など) ・峡北地区(荏崎市・北杜市)に児童支援連絡会の設立(令和7年度新設) ・山梨県社会福祉協議会プラットホーム参加(地域連携)(令和6年度加入)
3	対象地域4市とし、幅広い地域対象の中での運営・送迎の実施	ご家族のニーズに沿えるよう、対象地域4市(荏崎市・北杜市・南アルプス市・甲斐市)への送迎サービスの実施を継続。公用車数の拡大を実施。(令和6年度)	範囲やニーズが広がっていることを受け、送迎ドライバー要員の確保をし充実を図りたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内外環境の手狭さ	ご利用人数に対し、空間の手狭さを感じる。肢体のお子様方の車いす・バギーの往来があり、通行や活動に支障があることがある。	環境の改善に向けて、不要なものの撤去及び配置換え等日常の中で実施。また拡張等、法人として以後考察していかなければならない。
2	他法人や他事業所の交流・保護者参加型のイベントの開催の少なさ	感染症の兼ね合いで中々交流やイベントが盛んに行えない現状あり。また、職員配置によりご提案や実施が難しい現状もある。	感染症の兼ね合いを見ながら、交流について積極的な促しを行いたい。また、保護者様参加型の企画を強化したい。
3	常駐職員の配置・強化	多機能型事業所(生活介護・放課後等デイサービス)であるが故、職員配置が兼務になっている現状がある。	常駐職員の配置・強化が出来るよう、運営の見直し・利用稼働率の維持・強化を引き続き継続していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 特定非営利活動法人We Are 放課後等デイサービス MekiMeki

公表日 令和7年4月18日

利用児童数 令和6年度：19名

回収数 15家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	9	0	0	・利用時スペースは確保してもらっていますが、もう少し広いと移動しやすいですね。	ご利用人数に対し、利用空間が狭くなってしまうことがあり、車いす等の通行がしにくい状況があります。以後、環境改善について、法人としても検討して参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	0		
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	6	2	2	・感染症の兼ね合いがあるので、中々難しいと理解しています。	他事業所との交流に関しては、感染症の兼ね合い等もあり難しい現状がありました。今後そのような機会を作っていきたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	7	2	2		ご家族向けの研修会は実施できませんでした。次年度検討したいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	4	0		保護者会の設立はなされておりましたが、今年度は夏祭りをあーぶん開催とし、沢山のご家庭にご参加頂きました。次年度も保護者様同士の交流が持てる機会を設定したいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	5	1	0	・マニュアルの存在は知りませんでした。 ・マニュアルはよく分かりません	マニュアルに関しては保護者様にきちんと開示することができていなかった部分があったと思います。 次年度改善にて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	1	0	・今年度は参加する機会がありませんでした。	避難訓練は年に最低6回活動プログラムの中で実施しております。参加が出来なかったお子様方もいるため、次年度は全員が参加できるよう工夫して組み立てたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	1	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		特定非営利活動法人WeAre 放課後等デイサービス MekiMeki				公表日	令和7年4月18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2	利用者の状況により、部屋を仕切ったり仕切りを外し広くする等工夫がなされている。活動の内容や進め方を工夫している。	車いすの方が多く全員が一同に会する時にはスペースの狭さを感じる。通行や活動に支障が出る為、法人全体として考察していかなければならない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	0	利用者の状況により、静かに休んだり外出や散歩に行くなどの工夫をしている。	1日あたりの職員の配置基準は満たされているものの、全体のスタッフ数が増え専従スタッフが常駐できれば充実した支援と質の向上が見込めると思われる。運営として、人材の確保が早急の課題。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	当日の1日の流れを、黒板やホワイトボードにて視覚支援を用いて文字・絵・写真などを活用し分かりやすく情報を伝えている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	清潔保持を継続。子どもらしい空間を保てるよう、作品の掲示や季節の掲示・窓ガラスへのキットパス絵画などで明るくしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	各個室の活用+カーテンやパーテーション等を利用することによって、プライバシーの確保が出来ている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2		定期的な会議はケース会議が主体となってしまうのが現状。業務内容に視点を置いた会議を設けるのも良いかと思われる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	毎年年度末に、全ご家庭対象に事業所モニタリングを実施。その際に1年の振り返りとご意見・ご意向をお伺いをさせて頂いている。また、保護者様向けアンケート実施をし、頂いた内容に基づいてサービスの向上に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	事業所内会議において、意見の抽出を積極的に行っている。定期的なヒアリングの場をきちんと設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	外部研修に積極的に参加している。	内部研修内容や頻度を、今以上にもっと充実させる必要があると感じる。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	各ご家庭に配布し、HPでも開示している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	日々の状況によりアセスメントを行い、支援計画に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	定期的にケース会議を開催し、その中で個別支援計画についての見直し・改善について定期的に話し合うことが出来ている。	支援計画は、管理者兼保育士が作成しており、配置上の児童発達支援管理責任者は実働ではないのが現状。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		兼務等にて一部把握できていない職員がいる為、改めて周知と個の意識の強化をしなければならない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	自閉スペクトラム症に特化した支援方法のベースについて、職員間で周知している。	まだ浸透し切れていない部分もある為、個の意識と周知の強化が必要。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		現状、2名で立案している。本来ならば、専従職員がいる中での幅広い意見の中で立案しなければならない。しかし、現状難しい。改善したい。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	外部講師(音楽・芸術)のご協力があり、活動の幅も拡げている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	小集団での意識・過ごし方について生きる力が身につけていけるよう、意識しながらプログラムを組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	直接対面での打ち合わせは業務の中で中々難しいが、引継ぎ簿や共有SNSを活用し連携を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	支援終了後にミーティングを設けることは難しいが、気付いた点などをお互いに伝えあい共有している。引継ぎ簿を用いて、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		記録は日々欠かさずとっているものの、記録量が膨大である。その為、負担軽減のための新たな策を考案していきたいところ。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0		サービスガイドラインの周知がなされていない職員がいる為、改めて周知徹底していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	活動プログラムの中に、こども会議によって話し合われた内容を踏まえ取り入れている。イベントごとに、参加の可否を確認したり、日常の中で選択できる場面を意図的に設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		会議には、管理者兼保育士+看護師が参加しており、配置上の児童発達支援管理責任者は実働していないのが現状。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	未就学児からご就学での新規ご利用者様については、児童発達支援事業所さん等と丁寧に引継ぎを情報共有をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	支援内容を事業所へ情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		夏祭り等のイベントを徐々に地域を巻き込んでいければよいと思う。感染症の兼ね合いもあり、中々実施できていない現状がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0	令和6年度に自立支援協議会へ定義・立案。 令和7年度新設。(峡北地域(荊崎市・北杜市)児童支援連絡会発足)	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	連絡ノートを活用している。また、管理者がSNS・メール・電話を用いて常時家庭と連携を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		保護者様向けの研修の機会は設けられなかった。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		

保 護 者 へ の 説 明 等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	SNS・メール・電話・対面等様々な方法を用いながら、日頃保護者様との密な連携やご相談に応じている。	現状、管理者兼保育士のみが対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2		保護者会の設立はない。保護者様同士で交流が出来る機会が持てるよう、保護者参加型のイベントを企画したが1回しか開催できなかった。今後は交流の機会を増やしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	迅速に対応している。苦情内容に関して、苦情受付書を作成し記録に残している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		SNS(Instagram)のアカウントを開設しているものの、UP出来ていないのが現状。次年度は強化したい。また、ICT活用も実用化出来ていないため、実用化を目指したいところ。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0	法人として自動販売機を管理し地域貢献している。また、地元行政地区とも連携し、自治会に加盟し行事に参加したりしている。災害時(水害時)の避難所としても地域貢献している。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		マニュアルがあるものの、それらを保護者様方に十分に開示出来ていない現状がある。次年度は内容の見直しと共に開示していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	活動の中に防災訓練・避難訓練を取り入れて日々取り組んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		ご家族へのご説明が不十分な部分があるので、改めて確認していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	虐待防止の意識を高騰させるため、事業所内に掲示している。虐待防止・権利擁護の研修に参加し、現場職員に伝達・周知している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	現在、身体拘束に該当する児童なし。	